

INVESTOR EXPRESS

第95期 上半期のご報告
2015年4月1日から2015年9月30日まで



Contents

- 1 株主・投資家の皆さまへ
 - 3 セグメント別の概況
 - 5 トピックス
 - 7 連結財務諸表（要約）
 - 9 会社の概要
 - 10 CSRの取組み
- 裏表紙 株主インフォメーション

株主・投資家の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は小田急グループに対するご愛顧を賜り、厚く御礼を申し上げます。

第95期上半期の業績及び当社グループにおける取組みにつきましてご報告申し上げます。

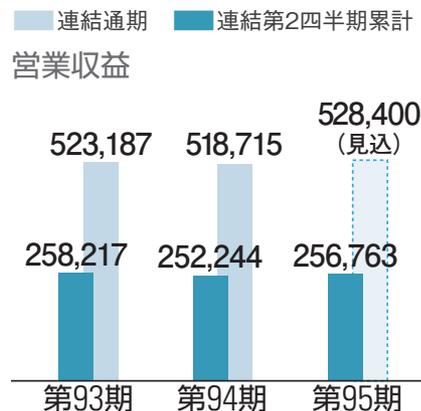
取締役社長 山木利満



経営理念

小田急グループは、お客さまの
「かけがえのない^{とき}時間」と「ゆたかなくらし」
の実現に貢献します。

連結業績ハイライト (単位：百万円)



第95期第2四半期連結決算の概要

営業収益は2,567億6千3百万円と、前年同期に比べ45億1千8百万円の増加(前年同期比1.8%増)となりました。

これに伴い、営業利益は288億2千1百万円と、前年同期に比べ16億2千9百万円の増加(前年同期比6.0%増)、経常利益は267億1百万円と、前年同期に比べ17億3千8百万円の増加(前年同期比7.0%増)となりました。

一方、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、特別利益の減少等により175億7千1百万円と、前年同期に比べ4億5千万円の減少(前年同期比2.5%減)となりました。

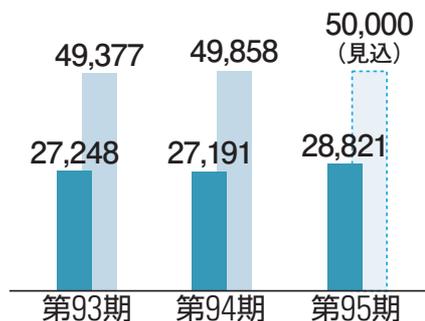
第95期の見通し

当期の連結業績予想につきましては、第2四半期までの業績等を踏まえ、平成27年4月30日に公表いたしました業績予想を変更しております。

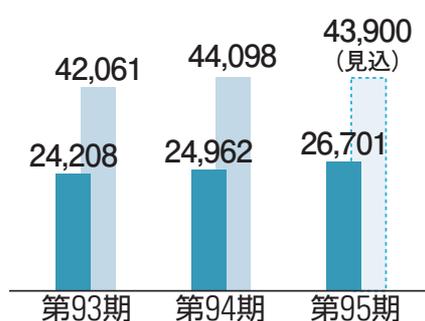
運輸業やその他の事業において、箱根大涌谷周辺の噴火警戒レベル引上げの影響を織り込むほか、流通業における小田急百貨店町田店及び藤沢店の売上が想定を下回ることを見込むことなどから、営業収益は5,284億円(前期比1.9%増)と、従来予想から93億円下方修正しております。

これに伴い、営業利益につきましては500億円(前期比0.3%増)と、従来予想から10億円下方修正したほか、経常利益につきましても439億円(前期比0.4%減)と、従来予想から6億円下方修正しております。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては272億円(前期比9.8%減)と、前回公表いたしました業績予想を変更しておりません。

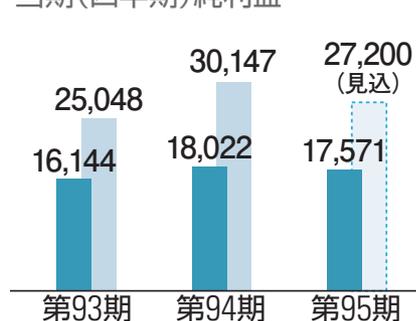
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益*



※連結財務諸表に関する会計基準の改正により、「当期(四半期)純利益」から「親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益」に表示変更

》 運輸業

営業収益

84,878百万円

(前年同期比 2.1%減)

営業利益

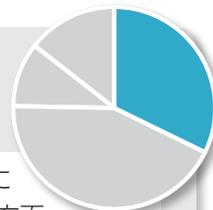
18,536百万円

(前年同期比 5.9%増)



売上高構成比

32.5%



当社の鉄道事業や自動車運送事業におけるバス輸送のほか、江の島・鎌倉方面の観光輸送が好調に推移いたしました。しかしながら、箱根各社において、箱根大涌谷周辺の噴火警戒レベル引上げに伴う影響を受けたことに加え、自動車運送事業において、前期に石油販売の営業を終了したことなどから、営業収益は減収となりました。

一方、営業利益につきましては、当社の鉄道事業や自動車運送事業における費用の減少等により、増益となりました。

》 流通業

営業収益

111,493百万円

(前年同期比 0.8%増)

営業利益

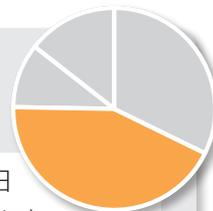
2,020百万円

(前年同期比 6.3%増)



売上高構成比

42.9%



百貨店業において、新宿店での訪日外国人による免税売上が増加したことに加え、ストア業等においても、スーパーマーケット「Odakyu OX」の既存店の売上が増加したことなどから、営業収益は増収となりました。

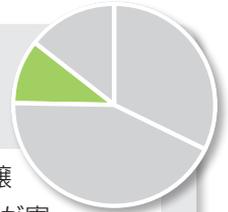
これに伴い、営業利益につきましても、増益となりました。

※売上高構成比は外部顧客に対する売上高に基づき算出しております。

》不動産業

売上高構成比

10.4%



営業収益

営業利益

29,503百万円

(前年同期比 19.6%増)

5,982百万円

(前年同期比 16.9%増)



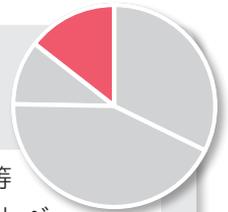
住宅販売戸数が増加した不動産分譲業や、前期に開業した物件の賃料収入が寄与した不動産賃貸業において増収となったことに加え、その他不動産業において、前期に子会社化したUDS(株)の売上が寄与したことなどから、営業収益は増収となりました。

これに伴い、営業利益につきましても、増益となりました。

》その他の事業

売上高構成比

14.2%



営業収益

営業利益

47,084百万円

(前年同期比 1.6%増)

2,200百万円

(前年同期比 14.9%減)



ホテル業におけるリゾートホテル等において、箱根大涌谷周辺の噴火警戒レベル引上げに伴う影響を受けたものの、「ハイアットリージェンシー 東京」等のシティホテルでは、宿泊を中心に好調に推移したほか、レストラン飲食業においても、新規店舗による売上の寄与があったことなどから、営業収益は増収となりました。

一方、営業利益につきましては、レストラン飲食業における費用の増加等により、減益となりました。



海老名駅間地区の開発計画の概要決定



(完成イメージ)

「憩う・くらす・育む～VINA GARDENS～」を開発コンセプトに、また「段丘都市」を都市デザインコンセプトに据え、地区全体を「住宅エリア」と「賑わい創出エリア」の2つのゾーンに分け、ゾーンごとのテーマに基づいた様々な施設を計画しています。今後は、2025年度の事業完成に向け、行政と一体となって魅力あるまちづくりを進めてまいります。

①住宅エリア

地区のランドマークとなる高層分譲マンションを建設するとともに、人口動態の変化や共働き世帯の増加等への対応として、サービス付き高齢者向け住宅や保育施設等を計画しています。

②賑わい創出エリア

オフィス棟や当社既存施設と差別化された商業施設などに加え、郊外での新たな暮らし方・過ごし方を提案する施設のほか、文化・交流を育む施設としてフィットネスクラブや教育・カルチャー等のサービス施設等を計画しています。



大山ケーブルカー新型車両導入

大山観光電鉄(株)では、開業50周年を迎えた本年10月1日(木)に、新型ケーブルカーを導入いたしました。本ケーブルカーは、自然に調和する「ブリリアントグリーン」を採用しているほか、こだわりの絶景をお楽しみいただけるよう、窓を大きくし、架線を撤去するなど眺望を重視した構造となっております。また、内装についても、緑を基調とし、自然に溶け込むようなやさしい車内空間としております。



新型大山ケーブルカー

海老名駅、伊勢原駅が 特急ロマンスカーの停車駅に

2016年3月実施予定のダイヤ改正から、海老名駅、及び大山の最寄り駅である伊勢原駅を、特急ロマンスカーの停車駅とすることといたしました。当社では、鉄道事業を中心とした運輸業と不動産業が連携し、駅周辺の整備、再開発、交通ネットワークの拡充によりお客さまの暮らしやすさの向上に寄与するとともに、新規利用客の誘引を図ってまいります。



小田急百貨店 小型店ビジネスを新規展開

(株)小田急百貨店では、8月23日(日)に「二子玉川ライズ・ショッピングセンター」に自主編集ショップ「Desk my Style」を、9月1日(火)に「小田急本厚木ミロード」にサテライト店「小田急百貨店オアシスあつぎ」をそれぞれオープンいたしました。

今後も、百貨店の得意とする「編集力」や「提案力」を活かし、お客さまの消費スタイルやニーズに応える新たな小型店を出店していくことで、事業領域及び収益力の拡大を図ってまいります。



Desk my Style



小田急百貨店オアシスあつぎ



「小田急ホテルセンチュリー 相模大野」リニューアルオープン

(株)小田急リゾートが運営する「小田急ホテルセンチュリー相模大野」は、全客室120室を改装し、9月18日(金)にリニューアルオープンいたしました。今回のリニューアルでは「+Resort」をコンセプトとし、山や海をイメージする色調とアートワークで整え、

「非日常のくつろぎ」を演出いたしました。また、11階にレディース専用フロアを新設したほか、よりグレードの高い客室としてハイクラスルームを全17室新設いたしました。



プレミアムツインルーム

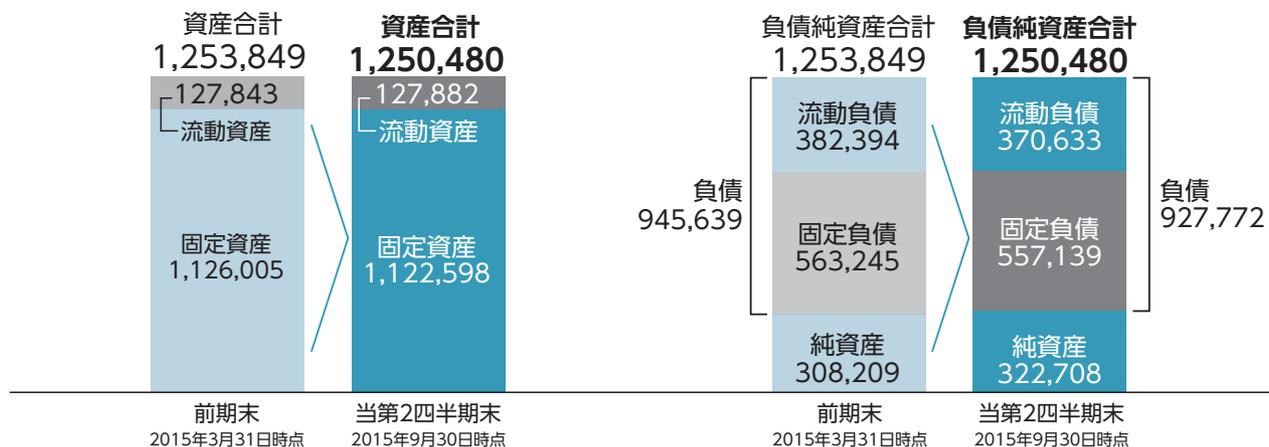


新型自動列車停止装置 (D-ATS-P) の全線設置が完了

当社では、2012年より当社線に設置を進めていたD-ATS-Pの設置が完了し、本年9月12日(土)より全線で運用を開始いたしました。これにより、列車速度を連続的かつ細かく制御することが可能となり、列車運行の安全性がさらに向上します。当社では、お客さまに安心、便利、快適に当社線をご利用いただくため、今後も安全対策を積極的に進めてまいります。

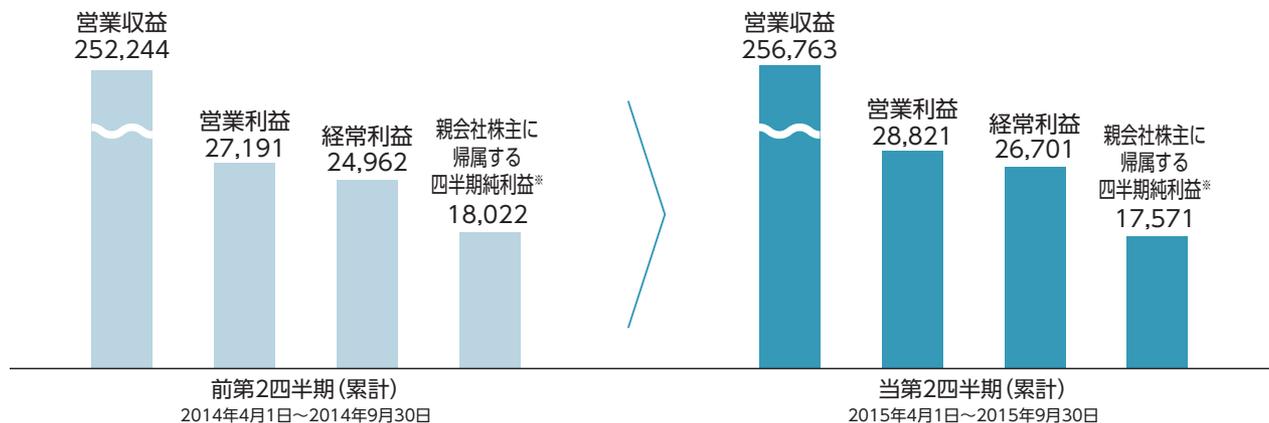
四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)



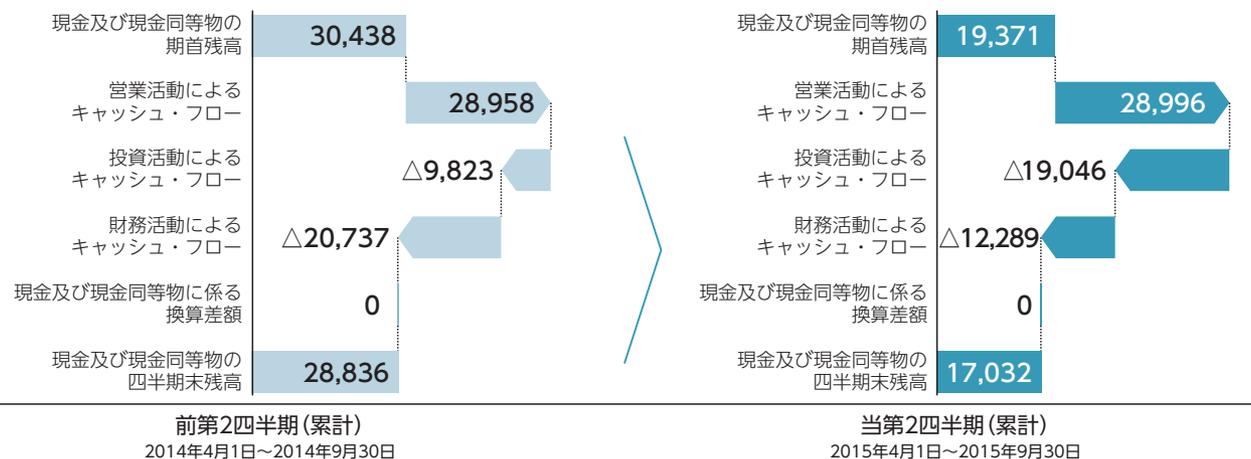
四半期連結損益計算書

(単位:百万円)



四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)



P o i n t 四半期連結決算のポイント

資産の部

固定資産における減価償却が進んだことなどにより33億6千8百万円減少いたしました。

負債の部

工事代の支払いに伴い、未払金が減少したことなどにより178億6千6百万円減少いたしました。

純資産の部

親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことなどから、144億9千8百万円増加いたしました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益261億5千6百万円に減価償却費や法人税等の支払額などを加減した結果、289億9千6百万円の資金収入と、前年同期に比べ3千7百万円の資金収入の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出が増加したことなどにより、190億4千6百万円の資金支出と、前年同期に比べ92億2千2百万円の資金支出の増加となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

社債の発行による収入が増加したことなどにより、122億8千9百万円の資金支出と、前年同期に比べ84億4千7百万円の資金支出の減少となりました。

会社概要

設 立	1948年6月1日 (前身の小田原急行鉄道は1923年5月1日設立)
本 社 事 務 所	東京都新宿区西新宿一丁目8番3号
資 本 金	603億5千9百万円
発行済株式の総数	736,995,435株
株 主 数	51,659名 (前期末比 84名増)
事 業 内 容	鉄道事業、不動産業、その他事業
従 業 員 数	3,640名

株主メモ

決 算 期	3月31日
定 時 株 主 総 会	6月下旬
同総会議決権行使 株 主 確 定 日	3月31日
配 当 金 受 領 株 主 確 定 日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
事 務 取 扱 所 (郵便物送付先) (電話お問い合わせ先)	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-782-031 (フリーダイヤル)
公 告 の 方 法	電子公告により行う。
ホームページアドレス	http://www.odakyu.jp/ir/koukoku/index.html

役員

代表取締役 執行役員	大須賀 頼 彦	常勤監査役	早 野 実
代表取締役 執行役員	山 木 利 満	常勤監査役	高 原 俊 二
専務取締役 執行役員	小 川 三木夫	監 査 役	宇 野 郁 夫
専務取締役 執行役員	星 野 晃 司	監 査 役	深 澤 武 久
常務取締役 執行役員	金 子 一 郎	監 査 役	伊 東 正 孝
常務取締役 執行役員	山 本 俊 郎		
取 締 役	森 田 富治郎	執行役員	五十嵐 秀
取 締 役	野間口 有	執行役員	荒 川 勇
取 締 役	中 山 弘 子	執行役員	黒 田 聡
取 締 役	朝 日 康 之	執行役員	立 山 昭 憲
取 締 役	藤 波 教 信		
取 締 役	天 野 泉		
取 締 役	下 岡 祥 彦		
取 締 役	小 柳 淳		
取 締 役	抱 山 洋 之		

株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

1 マイナンバー制度とは

マイナンバー制度(※)とは、国民一人ひとりにマイナンバーを配布し、その番号によって複数の行政機関に存在する個人の情報を正確に連携させるための新しい社会基盤です。

(※)行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(平成25年5月31日法律第27号)

マイナンバーの保護措置・利用範囲・ご提供について

- マイナンバーの取扱いには、法律により厳格な保護措置が設けられています。
- マイナンバーの利用範囲は、社会保障・税・災害対策に関する事務に限定されています。
- 社会保障や税に関する事務に限定して、マイナンバーのご提供をお願いすることが可能となっております。

制度実施の流れ

2015年10月～
マイナンバーの通知開始
市区町村から住民票の住所へ

2016年1月～
マイナンバーの利用開始
税務署に提出する法定調書等に記載

2 株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書に株主さまのマイナンバーを記載し、税務署に提出いたします。

主な支払調書

- 配当金に関する支払調書
- 単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

3 マイナンバー制度に関する株主さまへのお願い

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きが必要となります。このため、株主さまから、お取引の証券会社または三井住友信託銀行へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

証券会社の口座にて株式を
管理されている株主さま

お取引の証券会社まで
お問い合わせください。

証券会社とのお取引がない株主さま

下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。
三井住友信託銀行 証券代行部
フリーダイヤル 0120-782-031

このページでは、当社グループが行うCSR活動についてご紹介をしています。

小田急ファミリー鉄道展2015を開催しました

10月17日(土)・18日(日)の2日間、小田急線海老名駅に隣接する「海老名電車基地」及び商業施設「ビナウォーク」にて「小田急ファミリー鉄道展2015」を開催しました。

このイベントは、小田急グループをご利用いただいているお客さまに感謝の気持ちを込めて実施するもので、今年で15回目を迎えました。

就役10周年のロマンスカー・VSE（50000形）や、7種類の保守作業車も展示しました。さらに、特急用の簡易運転台など運転機器の操作体験や、「列車非常停止ボタン」等の模擬体験を行っています。

また、環境キャンペーンとして環境省の特別協力により「電車でクールチョイス！2015」を実施し、電車が環境に優しい乗り物だということを実感していただきました。ご参加いただいた方には「小田急ロマンスカーエコ石けん」をプレゼントしました。



小田急電鉄では、小田急グループのCSRの取組みについてより幅広くご理解いただくことを目的にCSRレポートを発行いたしました。

11月中旬より小田急線各駅にて配布しております。

もしくは、ホームページをご覧ください。

小田急 CSRレポート 2015

検索



株主優待制度のご案内

毎年3月31日及び9月30日時点の1,000株以上保有の株主さまに、半期に1回保有株式数に応じた優待乗車証のほか、小田急グループ200以上の店舗・施設でご利用いただける優待割引券をお送りいたします。

優待乗車証と優待割引券はお手元に届いたときからご利用いただけます。

▶ 株主優待乗車証

保有株式数		乗車証の種類		
		小田急線全線優待乗車証		小田急線全線及び 小田急バス全線優待乗車券
		回数券式	定期券式	定期券式
60,000株以上 (①~③より選択)	①	30枚	—	1枚
	②	60枚	1枚	
	③	140枚	—	
30,000株以上60,000株未満 (①~②より選択)	①	30枚	1枚	—
	②	110枚	—	
20,000株以上 30,000株未満		80枚	—	
10,000株以上 20,000株未満		40枚	—	
7,000株以上 10,000株未満		30枚	—	
5,000株以上 7,000株未満		20枚	—	
3,000株以上 5,000株未満		10枚	—	
1,000株以上 3,000株未満		4枚	—	

+

3年以上継続保有 追加枚数
小田急線全線 優待乗車証
回数券式
10,000株以上保有 6枚追加
3,000株以上保有 3枚追加
—

※回数券式は1枚1乗車有効

▶ そのほかの各種ご優待例



小田急百貨店、Odakyu OX
お買物割引券



小田急グループホテル
宿泊割引券、レストラン・バー割引券



箱根湯寮ほか
箱根エリア施設各種割引券

※掲載している株主優待制度は一例です。株主優待制度の詳細に関しては、当社ホームページ「株主の皆さまへ」をご覧ください。
※一部割引除外となる場合がございます。また、優待の内容については変更する場合がございます。

▶ 30,000株以上の株主さまの特典



GOLF
小田急藤沢ゴルフクラブ
1,000~4,000円割引



GOLF
小田急西富士ゴルフ倶楽部
約3,000~8,000円割引



CALENDAR
小田急電鉄カレンダープレゼント
※9月30日時点の株主さまが対象

▶ 株主カレンダー



※掲載の内容は2015年11月時点での予定です。

小田急 www.odakyu.jp/

